

もっと明るいというとおかしいんですが、もっと前向きなというんでしょうか、イメージのバスに愛称なんかもつけて、ぜひ取り組んでほしいなど。例えば指宿市なんか「イッシーバス」だなんて言って恐竜のキャラクターをつけて、明るく何か乗りたくなるような見るだけでも楽しくなるようなバスにしていってほしいんですけども、まずお金もかかるんですが、愛称をつけるとか、そういった明るいイメージというのは非常に大切だと思いますので、ぜひ、買い物の利用は少ないようだとおっしゃるに、そこを伸ばすことに努力をしていただきたいと思います。

今のことについて、企画調整課長、いかがですか。

○佐々木謙二議長 遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 ただいまの長井・蔵京線の運行ですが、ちょっと1点ご説明申し上げたいと思います。

先ほど申し上げましたが、長井・蔵京線については1から4便までを冬期間も置賜病院までやっております。それに加えて冬期間、土曜日1から3便、うめやまでは行っていると、土曜日にも運行しているというようなことでございます。

（「夏はしてないってこと」の声あり）

○遠藤健司企画調整課長 夏はしておりません。

冬だけそういう3便、土曜日、その対策協議会の方でご希望をとって運行しているというふうなことではございますので、そういう意味では、土曜日の買い物ということが目的で地区の方が利用されているのは議員ご指摘のとおりでございます。

○佐々木謙二議長 3番、我妻 昇議員。

○3番 我妻 昇議員 そうですね、土曜日で利用客が多いということはそういうことになりますよね。お医者さんの方はやっているとところもあるんでしょうけれども、買い物目的というものもあるでしょうから、そこをぜひ伸ばしてほしい。愛称のことにも答えてほしかったんですが、

後でいいす。

あと、乗りかえというのも以前からあったと思います。例えば毎便全部の便が今泉まで行かなくても、例えば先ほど言ったように隔日に1日置きにするですとか、いろんな策をした場合に、この便だけ行くから、そこで乗り合わせというか、乗りかえをしようというような、そういった柔軟な考え方ですとか、例えば伊佐沢なんかは冬期間しか住民バスは走っていないと思いますけれども、冬期間以外は伊佐沢も通っていくですとか、何かいろんな考え方ができると思うんですよ。乗りかえ、また路線なんかももうちょっと柔軟に大きな目線で、また大胆にっていうんでしょうか、曜日ごとに変えるというような大胆なことも含めて、より住民のためになるバスを目指していただきたいと思います。

あと蔵京線も、大分利用者は多いといえども減っていることもありますので、蔵京線も含めて今のすべてのことを見直すというようなこともあるかと思っておりますので、ぜひ明るい未来のために、象徴となるようなバスにしていきたいと思います。

最後に、市長、もう一度だけお考えをいただきまして、終わりにしたいと思います。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 我妻議員からご提案いただいた明るいバス、愛称もつける、大賛成であります。ちょっとだけ言いわけをさせていただくと、実はことしあたりから検討したかったんですが、もう人員体制からどうしようもないということでした、ぜひ来年から、議員からご指摘いただいたところを含めまして前向きに明るく取り組んでまいりたいと思いますので、よろしく願いいたします。

## 谷口栄子議員の質問

○佐々木謙二議長 次に、順位10番、議席番号5番、谷口栄子議員。

(5番谷口栄子議員登壇)

○5番 谷口栄子議員 12月定例会一般質問、最後の質問をさせていただきます。お疲れのところ、しばらくのご清聴をよろしく願っています。

12月定例会に、次の3点について質問させていただきます。答弁は、市長、建設課長、企画調整課長に願っています。

初めに、緊急経済対策として、公明党が提案してきた定額減税が、生活支援を第一とした定額給付金として実施されることになりました。11月28日付山形新聞に、給付金の支給方法について内谷市長の見解が掲載されていました。

「所得制限は設けない方向で考えている」と述べられ、「申請手続については、地区長さんや民生委員さんの協力を得て全戸に申請用紙を配布し、各地区公民館でも受け付ける。市役所に訪れなくても済む方法を検討している」と語っておられました。昨日の蒲生光男議員の質問で明快な答弁がありましたが、他県では定額給付金を装った不審電話も来ており心配されます。実施に当たっては細心の注意を払っていただき、事故のない対応ができますようお願い申し上げます。質問に入ります。

1点目、冬道の安全対策についてであります。

山形市では、11月28日、市役所前で冬本番の前に除雪車出動式が行われ、計画路線、市道3,679路線、生活道路633路線、市内5カ所の観測地点で道路の積雪10センチを目安に、本年度除雪計画費3億3,000万円が計上されているとのこと。長井市でも準備は整っていると思いますが、万全を期して除雪作業に当たってほしいと思います。

これからどれくらいの雪が降るのかはだれもが心配しているところですが、昨年私も

所属する長井市観光協会サークルつむぎのメンバーと高齢社会をよくする山形の会、現在のあやめの里レインボー、代表、佐藤俊子さんと長井工業高校生の生徒さんを始め17名で、2班に分かれて市内の雪道巡回を実施いたしました。雪で歩きにくくなっている歩道や、つららが下がって落雪の危険のある建物をチェックしたり、除雪が行き届かず通れない歩道や歩きにくい道、消雪水を出しっ放しにしている場所をまとめて市に報告しております。高齢者や障がい者にも優しいまちづくりに反映してもらおうとしています。

また、雪道対策の実施とともに、省資源への対応がどうかも調べました。積雪が少ないのに消雪水を出しっ放しにしているところをチェックしたところ、20カ所以上確認されました。

「限りある資源を有効利用することが大切だ」と提言しています。提言の中で対応なされたことがありましたら教えてください。パトロールをしっかりやって冬道の安全を確保してほしいと思います。

また、通学路の安全対策について、歌丸添川線の通学路確保のため防雪さくが平成17年より工事が始まり、ことしで第4期工事が一本木地区で10月25日から12月22日の期間で始められています。一番吹きだまりになって歩行の大変な歌丸東地区に設置がなされていません。なぜ設置されないのか、ほかの方法は何かなかったのか。あの場所を車で通行する人は、車道も吹きだまりで車が動けなくなることを知っています。経過と対応策について、建設課長にお伺いいたします。

市内には高齢者だけでの世帯も年々ふえています。冬を迎えますと、皆さんの心配は除雪です。ブルでうちの前に置かれたかたい雪を除くのに困っていたり、屋根の雪おろしをだれに頼んでいいのか心配されています。除雪について相談窓口の設置等は考えておられるのかも伺い

+

ます。

また南陽市では、地域の人たちが主体となつて行う除雪ボランティア作業を支援する除雪費支援補助事業に取り組んでいます。高齢者のひとり暮らしなど除雪が困難な世帯について、地域の人が玄関から道路までの除雪を行う場合、除雪費の燃料代を補助する事業で、ことしで3年目となるようです。補助単位は作業1時間280円、南陽市では補助申請を各地区の地区長さんをお願いしているとのこと。除雪を行う箇所と作業回数を見通しなどを記した事前協議書を市に提出し、本申請を行うようです。除雪機を操作する人の名簿、ボランティア活動保険、各種災害保険の加入状況を示す書類を送付することになっています。最後の除雪作業終了後に除雪機の稼働時間を記した作業日報を添えて補助金を請求するようです。

長井市ではNPO法人さわやかサービスさんに委託している人もいますが、南陽市の支援補助事業をぜひ参考に、一人でも多くの高齢者の住宅の除雪対策を図ってほしいと願うものです。

また、建設課長には、防雪さくの設置場所について、これからの予定を教えたいと思います。

2点目、男女共同参画社会のまちづくりの推進についてです。

第8回のチェリア・フェスティバルが山形市遊学館で10月19日行われました。ことしのテーマは「考えよう 未来を すべての人が ~すすめようワーク・ライフ・バランス~」で、講演は秋田市出身の東レ経営研究所代表取締役社長の佐々木常夫氏でした。「私は仕事も家族も決してあきらめない！」の演題、自閉症の息子さんを始め3児の父として、奥さんはうつ病を患い入退院を繰り返す中、看病をしながらの仕事と家庭の両立に努力され、家族の心と命を守りながら仕事に全力で取り組まれている体験を話してくださいました。「何も問題のない家な

んでない」と講演で強く訴えられました。「ビッグツリー」という本も出版されています。

当日オープニングでは、りんりん車椅子ダンスクラブの「すべての人が共に楽しむ車いすダンス！」で、障がい者とは思えないすばらしいペアのダンスを昨年に続き披露してくださいました。ワークショップグループの発表に、1つ、ガンと向き合う女性たち、2つ、子どもへの暴力防止プログラム、3つ、女性が支える地域の元気、4つ、あなたのバランスいいあんばいだがっす？、5つ、手作り紙芝居があり、各学習室で行われました。展示発表も、「キャリアカウンセリングって何？」、「みんなであそぼ」、「女性議員について」、「国際コミュニケーションレディスクラブ20周年記念展示」、「いきいきWネットワーク発山形の偉業で働く女性たち~これからの企業人として考えること~」、「あなたの町の男女共同参画度」、「ともに生きよう、支えあって」など、また、ふれあいコーナーでは「紙・ひも…これで何を作ろうか？」、「お茶席 ホット・ほっとの交流」、販売コーナーでは、フリーマーケット、「環境にやさしい『安全』『安心』なレインボー農産物」、「手作り食品から地産地消」、これは山形県生活学校連絡会が販売したものです。「人生楽しくそして環境にやさしく」、「生命をつなげる安全・安心な食と環境」、「楽しく楽しいいけばな」と題して、山形市の小学生の生け花の展示もありました。

長井からは、「けん玉にトライ」、「日本舞踊」が出品され、さあさあお立ち会いのガマの油口上の発表もあり、にぎやかなフェスティバルの開催でしたが、本市からの参加が少なく残念でした。けん玉トライでは、けん玉のペインティング、けん玉のわざを実演していただきました。この開催のチラシが長井市にも来ていたと聞いていましたが、どのような配布をなされたのか、また県の事業参加の啓蒙について、企

画調整課長に伺います。

本市でも各種女性団体の皆様がそれぞれ活発な活動を展開され、まちづくりに大きく貢献なされています。県の事業への参加呼びかけに力を入れていただけたらよかったと残念に思うところです。また、女性の皆さんからの提案をまちづくりに生かしていただくために、女性議会を開催してはどうかと市長にお伺いいたすものです。

最後に、他市町村との交流事業について。

友好都市交流の取り組みについて、去年は、長井市が会場のフラワー都市交流が、提携している市町村から多くの方々を迎えて盛大に開催され、関係者、市民の協力で大成功されました。フラワー都市交流は、昭和58年1月、連絡協議会が発足して始められたものです。つむぎの里として、茨城県結城市との交流は、同じく58年の6月、姉妹都市の調印がなされています。中国双鴨山市との日中友好交流、ドイツバート・ゼッキンゲン市とは59年6月から交流が始まり、どの交流も大切な交流で、若い世代へと引き継いでいただきたい交流に思います。今後の交流の取り組みについて、市長のお考えをお伺いいたします。

また、伊佐沢地区と沖縄金武町並里区との交流事業は、沖縄と山形の異文化交流を図ることによって視野を広め、地域を見直すとともに地域活性化をも図れると、10年以上も継続されています。両地区民の協力でホームステイされており、小中学生の交流を主に公民館事業として取り組んでおられます。

先月11月10日から12日までの間、会派盟政会の研修で、沖縄金武町の地域まるごと体験、体験型観光産業の取り組みについて、自然体験学習交流施設のネイチャー未来館の体験プログラムと長井市伊佐沢地区との交流事業について学んできました。伊佐沢地区と平成5年から始められた交流が10年を迎えたことで、平成16年3

月に、すばらしい一冊の交流10周年という記念誌が発刊されておりました。私たちが資料でいただき、大変感動して見せていただきました。また、私たちが大変お世話になってきました。快く迎えていただいたのも、大沼議員を始め伊佐沢地区の皆様のおかげだと感謝しております。

今後の取り組みとして、ぜひ長井市内から多くの方が伊佐沢地区の皆さんを中心として子供たちや若い人が交流できれば、人の交流、物産の交流を図り、地域活性化を図れると思います。この点について市長にお伺いいたします。

また、伊佐沢地区の交流は先日の新聞にも掲載されておりましたが、地域づくりの活動はすばらしい成果を上げて高く評価されている。11月27日の山形新聞では、地域づくりの活動支援制度を本年度の支援先に選ばれています。このような地区交流の推進を図っているところはほかにあるのか、市長にお聞きをいたしまして、壇上からの質問を終わります。ご清聴ありがとうございました。（拍手）

○佐々木謙二議長　ここで暫時休憩いたします。再開は3時10分といたします。

午後　2時52分　休憩

午後　3時10分　再開

○佐々木謙二議長　休憩前に復し、会議を再開いたします。

なお、小関勝助議員から早退させてほしい旨の申し出があり、許可いたしましたのでご報告いたします。

それでは、市政一般に関する質問を続行いたします。

内谷重治市長。

○内谷重治市長　谷口栄子議員のご質問にお答えいたします。

+

谷口議員からは、大きく3点ご質問いただきました。

それではまず最初に、冬道の安全対策について、私の方からは(3)の高齢者住宅の除雪対策についてお答えいたします。

本市の高齢者の除雪支援につきましては、経済的にも負担が厳しく親族や近隣等からの雪おろしの援助が期待できない世帯に対しまして、福祉事務所が窓口となり、地域の実情を把握している民生委員の協力を得ながら雪おろし支援を行っております。内容につきましては、ワンシーズン2回を限度にいたしまして、市でシルバー人材センター、2階建ての建物については長井白鷹建設組合等に委託いたしまして、1回につき1万6,000円の範囲で除雪費用を負担させていただいております。また、ひとり暮らしの高齢者等で特に訪問介護サービスを受けている世帯を対象にいたしまして雪かき事業を実施し、冬期間における生活不安の解消に努めております。

平成19年度につきましては比較的降雪が少なかったわけでありますが、実績といたしましては、雪おろし事業につきましては17名、20回、雪かき事業につきましては36名、318回となっております。

ご質問でございます南陽市の除雪費支援補助事業を参考とした取り組みにつきましては、ボランティアセンターが設置されております市の社会福祉協議会を中心に除排雪ボランティア、地域コミュニティによる除排雪支援の仕組みづくりを検討してるところでございます。高齢者等の除雪機による除排雪につきましては、地区長、民生委員さんのご協力をいただきながら地区で活動いただけるような仕組みづくりを考えておりまして、ある程度有償ボランティア的な支援で対応していく必要があると考えております。高齢者世帯が急速に長井市内でも増加しており、冬期間の生活支援として重要な課題であ

り、早急な対応が必要ととらえております。

次に、2点目の質問でございますが、女性議会を開催してはどうかという点でございます。これは男女共同参画のまちづくりの推進ということでご提案いただきました。ありがとうございます。

現在、市内で特に活発にいろんな女性団体が活動いただいているところがございます。特に中央女性の会、あるいは長井市婦人会、また高齢社会をよくする会、あやめの里レインボー、観光協会のつむぎの会などたくさんの団体の方からいろんな取り組みをしていただいております。現在のところ、そういった女性の団体とのいろんな意見交換会というものはなかなか設定できないので、私もそういった会の総会等にはお招きいただいたり、あるいはイベント等でご招待いただいておりますけども、やはり女性の視点でのまちづくりを進める上で、女性議会というのは非常に有効なものではないかなと思っております。

いろいろ調べてみましたら、県内の市町村では女性議会を行ってるところはどこにもないと。あと1988年に山形県議会の方で模擬議会、女性だけの議会を行った経緯があるということでございますので、女性議会の開催についてはなかなかおもしろい試みではないかというふうに思いますのでぜひ検討したいと思っておりますけども、なかなか、現在、少年議会の方も教育委員会の方で行っており、そして女性議会の方を主管課とすれば恐らく企画調整課になるわけでございますが、企画調整課の方も、この前に我妻議員からもご指摘ありましたようにそちらの方もしなきゃいけない、また経済再生戦略会議、あるいはそろそろ国調の準備とか、あと今電算の共同アウトソーシングとか、かなり手いっぱい状況ではありますが、ぜひ前向きにこの点検討してまいりたいと思っておりますので、ぜひ谷口議員始め議会の皆様からもご指導いただければ大変あ

りがたいというふうに思います。

次に、3点目でございますが、他市町村との交流事業についてお答え申し上げます。

まず、友好都市交流の取り組みについてということでございますけれども、現在、議員ご指摘のように、フラワー都市交流、昨年は長井市で総会を開催いただきました。また、平成19年度は長井市が会長市ということで、ことしの春に鹿児島県の方に行ってまいりましたけれども、フラワー都市交流につきましては市民の皆さんが中心となっているような取り組みをしていただき、特に昨年は総会を長井で開催いただいたということから、花いっぱいのもちづくりに大変貢献いただいたとっております。特に中心市街地については、今までは四ツ谷地区中心とした取り組みがメインだったわけですが、それに加えて、つつじ公園周辺あるいはあやめ公園周辺の道路沿いにいろんな取り組みをいただいたと。また、ことしについては、加えまして長井橋の方にそれこそ20数年ぶりに橋の花壇の方に花を植栽いただいたということで、確実に花いっぱいのまちづくりが従来の花いっぱい運動等を含めて広がっているというふうに思っております、これをぜひもう少し市民レベルで広がるように、来年は静岡県の下田で開催されますので、今回は近いということで、広く市民から募りまして訪問団を結成して参加すべきものと、そして、いろんな刺激を受けてまいりたいというふうに思っております。

また、昭和58年に姉妹都市提携を結んだ結城市につきましては、現在のところ議会でも2年に一遍程度の交流ということ、また、私はことし茨城の方に出張したついでに結城市を訪問させていただいて、町中を歩かせていただきました。昨年、結城市長さんが長井の方に見えられたということの返礼でございましたけれども、長井とまちなみが非常に似ております。もともと長井つむぎ、結城つむぎの縁で姉妹都市を提携

したわけでありまして、これから長井が進めようとしてるまちなか観光とか中心市街地の活性化では大変参考になるんじゃないかなというふうに思っておりますので、そういった意味で、現在はアヤマの時期に物産交流のみでございますけれども、市民レベルの交流も再び活性化するように検討すべきものと思っております。

それから中国につきましては、残念ながらここ18年以降全く交流がありませんが、ただ、日中友好協会の中で、市内在住の中国国籍の方であったり市内に嫁いでられる方とか働いてる方の交流があり、そういった意味では中国ともこれからますます交流を密にしなければいけないと思っておりますが、こういった交流の仕方をしていくべきか、ぜひこれから検討しなければならないと思っております。

さらにはバート・ゼッキンゲンでございますが、ことしは姉妹都市提携25周年ということで、残念ながら市の方からは公式には行けなかったんですが、前教育委員長が代表して行っていただきまして、大変交流をいただいたところでございます。また、山形新聞の松本支社長も同行いただいたということから山形新聞でも取り上げられまして、そういった意味では市民の皆さんの、非常にゼッキンゲン、ドイツとの交流について関心が高まっている時期だと思います。ぜひ来年は長井の方にお招きしたいということで、あわせてドイツ以外にもイタリア、フランスなどゼッキンゲンの友好都市もお招きしなければならないと考え、その準備を、やはりこれも企画調整課を中心として行っていかなければならないというふうに思っております。

そして、この成果といたしましては、ゼッキンゲンクラブの輪を広げると、あと、来年いらっしゃるドイツを中心とした友好都市の皆さんには、ホームステイ先として市民に広く募ったり、あるいは、来年は難しいんでしょうけれども、行く行くは夏休みとか春休みを利用した中学生

+

とか高校生の短期のホームステイを相互に交換するなどして、海外とといいますか、外国との国際交流を深めていくことが将来を担う子供たちにとって重要なことというふうに思っております。

それから、質問の中で地区交流の推進ということでございますけども、沖縄の金武町につきましては、ことし水まつりの際、副町長さんあるいは教育長さん等々お越しいただきまして、毎年お越しいただいてるわけでございますが、私も伊佐沢の方で交流させていただき大変刺激を受けたところでございます。残念ながら私は金武町へ行ったことはありませんけども、大変すばらしいところだということで、まずもって伊佐沢地区の長年にわたる交流があったからこそ、市民レベルでの交流があったからこそ、こういった地に足のついた心の交流ができるんだというふうに思っております。ぜひこれは伊佐沢地区を中心に、また市内にも広げられれば大変ありがたいと思いますが、まず行政間での交流というのはこれからの状況を見てから検討しなければならないと思っております。

一方で、地区の交流がいろんなところあるんじゃないかということで最後に質問いただきましたけども、現在のところ、中道と台町地区で新潟県村上市とソフトボールを通じて交流があるということでございます。また、草岡の新町地区については宮城県の東松島市と地区間で交流をしているということでございます。そのほかにも、現在も行っていると思っておりますが、五十川地区で、旧温海町、鶴岡市の方の五十川地区、同じ五十川ということで交流があるというふうに聞いております。

また、谷口議員もご承知のとおり、市の物産を通してということや、あとはグリーンツーリズムということで、特にことしは、川崎市が多摩区の方に中野島地区というのがございますが、あそこ20年来の平野地区、大久保地区が交流

があり、そして音楽祭に招かれたり、あるいはことしは行政間で多摩区民祭の方にもお邪魔したりしております。あとは江戸川区民まつりにもご招待いただいて、いろんな物産交流、それと、板橋区のとれたて村の方には常時アンテナショップとして長井の農産物を出店させていただいておりますが、ことしは特に2回にわたってお祭りを、長井市主体のものもあつたり、全国のとれたて村の出店の自治体とお祭りを開催しながら物産の交流を中心に行ってるところでございます。

なお、川崎につきましては、これからぜひグリーンツーリズムとエコツーリズム、それからさらに発展して、教育旅行などでいろんな交流ができるまたとない機会だなというふうに考えておまして、川崎市とはいろんな意味で深いつながりを持っていきたいというふうに考えておるところでございます。私からは以上です。

○佐々木謙二議長 鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 谷口議員のご質問にお答えいたします。

まず初めに、サークルつむぎによります昨年度冬期事業といたしまして、雪道巡回の報告書をいただいております。女性の視点での感想、ご指摘いただいております。大変ありがとうございます。冬期の通学路等の安全確保のために参考とさせていただきたいと存じます。

それでは、ご質問3点ほどございました。まず最初に、吹きだまりになる場所になぜ設置されないかということで、特に歌丸東地区の関係でございますが、経過についていろいろとご報告をさせていただきたいと思っております。

防雪さくの設置についてであります。地域のご要望によりまして、長井市財政の中期展望に基づき設置工事を進めているところでございます。防雪さく設置工事を実施するに当たりましては、固定する施設でするので、道路敷地の確認、それから隣接する土地の利用上、十分なご

理解をいただかなければならないというふうに思っておりますので、要望団体であります関係地区や団体等との協議の上、調った箇所から実施させていただいております。

さて、歌丸添川線の防雪さく設置工事でございます。17年度の事業開始当初より事業用地買収の必要がなく、道路隣接土地が田んぼの場所、それから道路のり面にのみ設置する計画で進めてまいったところでございます。

事業最終年を迎えまして、ことし3月ごろに前水木地区長さんから、今年施行予定の箇所を短縮してでも、議員ご指摘の当該箇所の用地を買収あるいは寄附によることで防雪さくの施行が可能かどうかという問い合わせがあったところでございます。市では、地区及び地権者の同意があり当年度事業費の範囲内であれば当該箇所の施行も可能であると、そのような旨のお答えをいたしまして、地区において協議をしてみようということでありました。その後、水木及び一本木地区において話をいただいたと聞いておりますが、地元では結局、歌丸地区長会に地権者及び地区の意見を取りまとめいただくことになったとのこととして、歌丸地区長会長及び副会長にも同様の説明をその後させていただいたところではございます。

その後、歌丸地区において地権者等の調整をいただきましたが、結論として、隣接する土地の利用上、支障が出るため土地所有者の同意が得られないと。4筆ほど地権者の方がいらっしやいました。このため当初の計画のとおり施行をお願いしたいというご返答をいただきましたので、一本木地区の、最終的に添川沿いですが、そちらの方の施行を今年度の工事として計画をしておりましたので、そちらを進めさせていただいてるところでございます。

2点目、その他の対応策といいますか、方法とはということですが、課題となりました隣接土地利用に支障がないように冬期間のみ設

置する仮設型の方法もございしますが、材料購入や毎年の設置と撤去費用、設置場所の状況や地権者の同意、借り上げ料など手続や経費が毎年かかるという状況です。撤去できるからといっても大変効率の悪い方法でありますので、財政状況からも大変難しいというふうに考えます。

市内にはお待ちいただいている路線が多くありますので、中期計画にのっとりまして順次進めていかなければなりませんので、この件につきましては地元で再度関係者と調整をいただくなどして、地区の合意の上、また要望を箇所として上げていただくというのがお願いをしたいところでございます。

もう1点、防雪さくの今後の予定でございます。中期計画で当面今年度の歌丸添川線の部分が最終年でございますが、今後財政の方が順調に予算要求の中で認められますと、中街道線、ちょうど消防署、東側の道路になりますが、清水町から浦原に抜ける道路になりますが、そちらの方を進めたいと思います。その後、大久保天神寺線、ちょうど平野小学校の北側、それから時庭川窪線、ちょうど豊田のトップパーツさんのところから東から上がって豊平橋を通りましてプラザの東側を通る道路の部分ですが、その部分が今現在、中期展望に上げていく予定のところでございます。最初申し上げました中街道線は来年度から予定をさせていただいてるところでございます。

なお、市内の小中学校のPTAの方からも、川原沢や草岡、その他からの要望もございしますので、これも財政事情が許す範囲の中で順次進めていくというふうなことになるかというふうに思います。以上でございます。

○佐々木謙二議長 遠藤健司企画調整課長。

○遠藤健司企画調整課長 谷口議員のご質問ありました男女共同参画社会のまちづくりの推進についてお答え申し上げます。

ご質問ありました10月19日のチェリア・フェ



スティバルは、男女共同参画社会づくりを目指した県内の団体が実行委員会を組織しまして、活動発表あるいは交流イベントというようなことで大変な盛況であったというふうにお聞きしております。最近号のチェリアの機関紙の方でも随分紹介されておりますので、見させていただいております。

本市からは、観光協会のサークルつむぎの皆さんが実行委員としてご参加なさいまして、準備の段階からさまざまご協力いただきましたが、県内の団体との交流等ができて、さらなる連携あるいは活力につながったのかなというふうに考えております。サークルつむぎの皆様には、先日、小桜館におきまして男女共同参画県民企画事業として、育児、子育てに関するワークショップ、「育児には、祖父・父親の参画があってこそ！」をテーマに開催されております。子育てや家庭の中の父親の役割、男の役割というようなことを通して男女共同参画について一緒に考える場所をつくっていただきまして、ありがとうございます。こうした事業につきましては、市の場合には、ホームページあるいは広報の方で市民の皆様幅広く周知させていただいております。

ご質問ありましたチェリア・フェスティバルについてですが、このチラシは確かに8月の末に企画調整課の方でいただいております。いただいた枚数が50枚というふうな枚数でございましたので、庁内の方に置かせていただいたというふうな配布の状況でございました。

なお、チェリアの方からは、長井市の子育て支援センター、あるいはファミリー・サポート・センター、あるいはチェリアの参加団体の方にチラシをそれぞれ置かせていただいたというふうなことでございます。いずれにしましても、このようないいイベントになるべく長井からも参加するという事は結構なことだというふうに思います。こういうイベントの周知に

については、どういう流通、チャンネルあるいは方法、あとはボリュームなどを考えながら、より市民の皆さんに浸透するように、県やチェリアセンターなどとも相談しながら以降取り組んでいきたいと思っておりますので、よろしくお願いたします。以上でございます。

○佐々木謙二議長 5番、谷口栄子議員。

○5番 谷口栄子議員 大変答弁いただきましてありがとうございます。

友好フラワー都市交流、長井市を始め10の市町村あるわけですけれども、花だけの交流でなくて、この中から、もしかしたら災害時の交流というか、同じ東北地方がそういうあれに遭ったときなんか、やはり離れた方のところの応援なんかすごく助かるんでないかなって思うんですけれども、茨城の結城市始め、また、このフラワー都市交流の中からもどこか近いところでの交流というのは、防災に関しての交流のあれは考えておられるのかどうかちょっとお聞きしたいんですけれども。市長にお願いいたします。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 今回の段階でフラワー都市交流の皆さんとそういった議題で話したことはありません。ただ、議員ご指摘のように、やっぱり同じ地方ですと同じ災害に遭うわけですから、そういった意味ではぜひ検討すべきものと思えますし、それ以外にも例えばあやめサミットというものもあまして、あやめサミットの方は私も2回出席させていただいて、例えば千葉県香取市とか、あるいは茨城県潮来市あたりとは、ぜひというふうなことも思っております。

なお、フラワー都市交流の方も、活発な活動といえますか、交流してますので、ぜひ検討したいというふうに思います。

○佐々木謙二議長 5番、谷口栄子議員。

○5番 谷口栄子議員 つむぎの里の茨城県の結城市は、何もそういう防災の方はないんですか。

何かその辺ちょっともう一度確かなところを教えてくださいたいと思いますので、市長、お願いいたします。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 結城市とは具体的に防災協定を結んだというふうには認識しておりません。それと……。

(「してる」の声あり)

○内谷重治市長 姉妹都市ということで……。

(「防災協定してる」の声あり)

○内谷重治市長 失礼いたしました。市民課の方では前に行ったということで、ちょっと勘違いしておったようでございます。大変申しわけありません。

○佐々木謙二議長 5番、谷口栄子議員。

○5番 谷口栄子議員 確かなところは教えていただきながら、日中友好協会の中国の双鴨山市とは毎年、私も友好協会の会員となって関心を持ちながら、何とか中国の皆さんとも交流したいものだというので、中国家庭料理教室、毎年ある料理教室に参加させてもらってるんです。去年の料理教室も大変すばらしい開催をしていただきましたので、これも今後続けていただきたいというふうに思っております。

長井の花交流の中でまちなか観光、やはりいつ観光客が長井においでになってもいつでも花があるという、花のあるまち、花の長井ということで大事なことだというふうに思ってますが、商工会議所の女性部の皆さんたちも、自分のうちの前にガーデニングを、すばらしいガーデニングをいつでも見てくださいというので提供してくださっている方もおられます。本当に花に対して、フラワー都市交流の中からこのような、うちも四ツ谷の住民ですけども、フラワーロードをつくったり、それからまた、それぞれの郡部の方でも歌丸や川原沢や、本当の道端なんか丁寧に花を植えてくださって、どこに行ってもきれいな花が咲いてるなというふうに

感じられるようになりました。大変すばらしいことだと思っております。今後も続けてもらえますように、昨年なんかはやはり、花代というか、少しでもお金を出していただければみんなが頑張るというところもありましたですけども、今後とも続けていただきたいと思っておりますけれども、市長、お願いいたします。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 お答えいたします。

花いっぱい運動については、花の、苗木じゃないですけども、フラワーポットを建設課の方で配ったり、あるいは商工観光課で配ったりもしておりますが、ちょっと予算の範囲内ということで現在しておりますけども、ぜひそういう市民の皆様が、自宅じゃなくて、あくまでも公共のスペースにいろんな形でご協力いただけるときは、そのように提供できるようにしていかなければならないと思っております。

○佐々木謙二議長 5番、谷口栄子議員。

○5番 谷口栄子議員 ありがとうございます。

建設課長にお願いいたします。昨年私たちが提案させていただきました雪道対策の調査票に基づいての対応なされたところというのはどこかありますか、教えてください。

○佐々木謙二議長 鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 お答えをいたします。

いただきました冬期事業の中の文面の中ではいろいろ感想とか細かいところあるんですが、再度パトロールの中にこの意見を生かさせていただくということで、具体的にこれを見ますと、大きく改善箇所というか、そういうことではなく、細かな非常に水の出しっ放しとか、そういうような指導的な部分が多いようです。それと、あと除雪のされていない部分とかっていろいろありましたが、それについては各地区長さんの方に打診させていただいて、一部今年度から周辺の住民の方にご協力いただきまして、機械を入れて除雪をするというふうな箇所も若干出さ

+

せていただいております。

○佐々木謙二議長 5番、谷口栄子議員。

○5番 谷口栄子議員 同じく雪道対策で、市内の消雪のところは除雪はないってことで、車歩道との区別のないところの歩道を子供たちも通学路にしてるところがあつて、やはり雪がたまつてると、大雪のときなんかの除雪ってものが大変心配されてるようですので、先ほどパトロールをしながらというふうにありましたけれども、細かなパトロールをしながら対応よろしくお願ひしたいと思ひます。

あと大雪になりますと、やっぱり萩団地では子供の滑り台が、公園つていうか、ちょっと空き地のところにあるんですけども、除雪車の邪魔になつてゐるって、それで冬期間その滑り台をちょっとほかにつていうか、一時移動することはできないかなんていうこともあるんですけども、その点はどうでしょうか。建設課長、お願ひいたします。

○佐々木謙二議長 鈴木一則建設課長。

○鈴木一則建設課長 お答えをいたします。

萩団地の路線が4路線ほどありますが、機械除雪をさせていただいてるということで、押す場所が、だんだんやっぱり大雪になりますとなくなるということがあります。今ご指摘いただきました遊具の部分については、夏期の間は遊具として使う場所でございますので、どうしても支障がある場合は排雪作業などをして確保しなければならぬと思ひますので、当然ながら地区長さんと現状を見させていただきながら対応させていただくということで対処したいと考えております。

○佐々木謙二議長 5番、谷口栄子議員。

○5番 谷口栄子議員 12月6日の山形新聞で、「除雪支援を考える ゆきみらいシンポ・村山」つてなつて、県の内外の事例の報告というのがありまして、この長井市から、清水町地区の安全推進運動連絡協議会とNPO法人のさわ

やかサービスさんが除雪支援の取り組みを報告されてるようです。本当に事例報告できるすばらしい取り組みをなさつておりますので、今後とも続けていただきたいというふうに思ひます。

以上で終わりますけども、先ほどの確認していただきまして、終わりといたします。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 先ほどの結城市の防災協定の件でございますが、大変申しわけございません。ちょっとまだ確認できなくており、ただ、議会の方で協定を結んだということもお聞きしておりますので、それは後日確認して報告させていただきたいと思ひますのでご了承お願ひいたします。

○佐々木謙二議長 内谷重治市長。

○内谷重治市長 大変申しわけございませんでした。ちょっと事前にもう少し確認を丁寧にしなきゃいけなかったんですが、平成9年11月21日に結城市と災害時における相互応援協定書を結んでるようございました。おわびしてご報告申し上げます。

○佐々木謙二議長 以上で一般質問は全部終了いたしました。

## 散 会

○佐々木謙二議長 本日は、これをもって散会いたします。

ご協力ありがとうございました。

午後 3時46分 散会